

令和8年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 大南学園第四中学校

校長名 福泉 宏介

教育目標

小学生の憧れとなるために

- ・ 知を磨く生徒 (自主・自立)
- ・ 徳を積む生徒 (共生・貢献)
- ・ 体を鍛える生徒 (健康・大志)

1 目指す特色ある学校像

小中9年間を通し、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を図る

〈生徒〉 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けた生徒

〈教師〉 生徒を温かく見守り、「主体的・対話的で深い学び」で学力を伸ばす教師

〈学校〉 コミュニティスクールの機能を生かして、保護者・地域と情報や理念を共有して小中一貫教育を進める学校

2 経営の具体策

(1) まちづくり学習、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

- ① 次代を担う市民として必要な資質・能力を育成するために、学校全体で各教科、総合的な学習の時間及び特別活動において「まちづくり学習」を推進し、地域や保護者と連携した探究的な学習を行い、よりよい地域づくりのために主体的に考え、行動する態度を養う。
- ② 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力等を養うとともに、主体的に学習に取り組む態度を育てる。また、文章を正しく読み取る力の育成を図る。
- ③ 生徒一人1台端末、ネットワーク環境の有効活用により、個別最適化された学習の提供と、他者と協働して課題解決を図ったり考えを深めたりする学習の推進を図る。
- ④ 放課後や長期休業日に補充的な学習を実施する。また、自主学習ノートの取組を推進し、基礎学力の定着を図る。
- ⑤ 道徳でローテーション授業を行い、多面的に考え、自分事として考え議論する授業を行う。
- ⑥ 行事を生徒の実行委員会を中心に創り上げ、自主的・実践的な力を育成する。
- ⑦ 職業理解学習・職場体験を通して、地域との関わりの中でキャリア教育を推進する。

(2) 特色ある教育活動

- ① 定期的なアンケートを教育相談に活用するとともに、生徒指導の視点を取り入れた授業の充実を図り、生徒に寄り添い、不登校の未然防止と学校復帰に努める。
- ② コミュニティスクールの機能を生かした学校づくりを行い、小中一貫教育の取組を広く発信し、教育活動に外部の関心を集め、生徒、教職員の意欲の向上と生活態度やサービスを正す。
- ③ 教員のライフ・ワーク・バランスの充実を推進し、教員の資質向上と安定した学校を目指す。

(3) 生活指導、進路指導

- ① 人権教育を基盤とし、生徒一人一人を大切にするとともに、生徒の生命を第一に考え、安全・安心な学校生活に向け、小中一貫校として共通理解を図り、組織的に対応する。
- ② いじめ等の問題行動や不登校の未然防止及び早期発見・対応に組織的に取り組む。
- ③ 進路学習やキャリアパスポートの活用により、過去を踏まえ、将来を見通した進路指導を行い、自立心・向上心を育てる。

小中一貫教育推進に向けた方策

小中一貫校基準「自分の考えをもち、理由をそえて説明できる生徒」

・ 定期的に学園会議と担当者会議を開くことで

- ① 小中一貫校の意義を確認し、連携して「知・心・形の統合」を推進する。
- ② 小中合同で教科指導研修会やOJTを推進し、教師の授業力・指導力の向上を図る。
- ③ 生活指導の情報交換を踏まえて基本的生活習慣や授業規律の大南スタンダードを作る。